

ヨーロッパザラボヤ関係調査結果

道総研中央水産試験場

◎ヨーロッパザラボヤ浮遊幼生調査

6月12日に祝津ホタテ養殖漁場の「かみ」、「なか」、「しも」の3カ所で、表層から水深30mまで3層にわけて浮遊幼生調査を行いました。調査の結果、「かみ」の底層と「なか」の表層でザラボヤの浮遊幼生を確認しました（表1）。

表1：ヨーロッパザラボヤ浮遊幼生調査結果

場所	水深	水温	クロロフィル	ザラボヤ		ユウレイボヤ		その他のホヤ		ヒトデ		フジツボ	
				個	個/トッ	個	個/トッ	個	個/トッ	個	個/トッ	個	個/トッ
かみ	0~10m	14.2~16.5	0.2~0.5										
	10~20m	13.4~14.2	0.2~0.4										
	20~30m	13.1~13.4	0.3~0.8	1	2.5								
なか	0~10m	14.2~16.6	0.2~0.5	1	2.5								
	10~20m	13.5~14.2	0.3~0.5										
	20~30m	13.2~13.5	0.5~1.0										
しも	0~10m	14.2~16.5	0.2~0.5										
	10~20m	13.4~14.2	0.2~0.4										
	20~30m	13.1~13.4	0.3~1.1										

【参考資料】

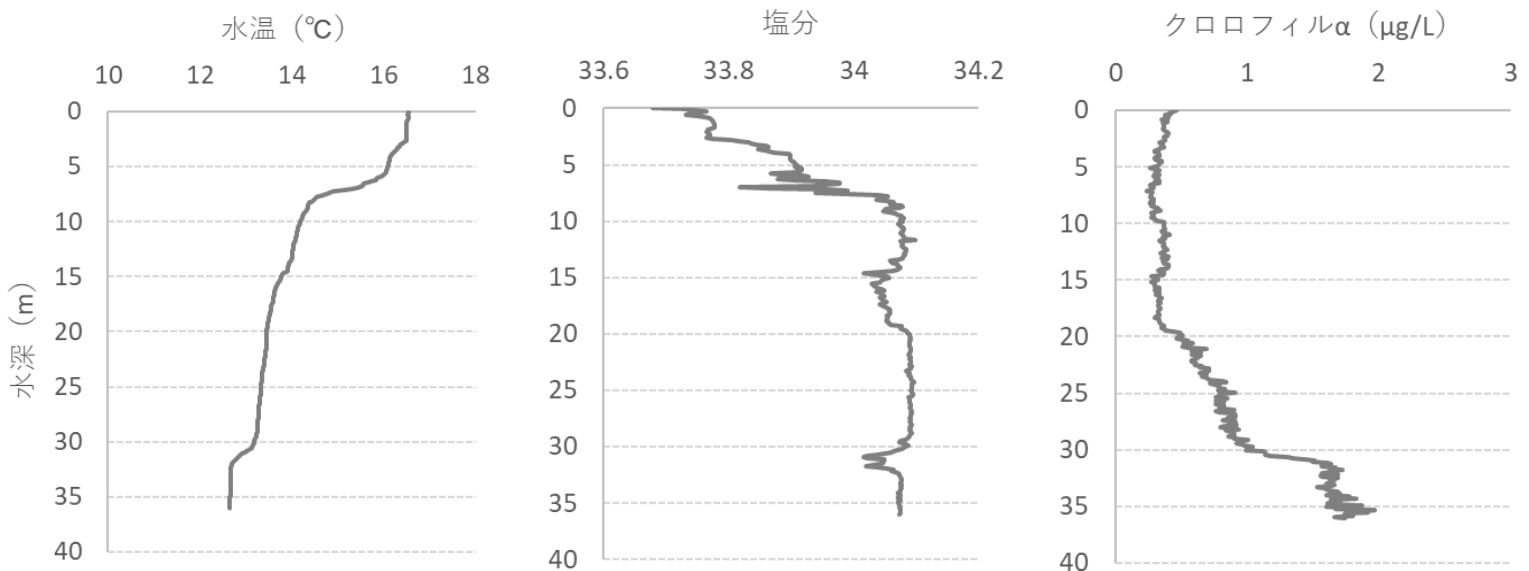


図1：「なか」の水温・塩分・クロロフィルの鉛直分布

◎ヨーロッパザラボヤ調査は今後継続して実施します。

※この調査は北海道ほたて漁業振興協会からの委託研究により実施しています。

※調査結果は中央水産試験場HPからも確認できます。

<https://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/central/section/zoushoku/tkh4vd000002m9a.html>